

# 環境に係る情報協議会

## 国営かんがい排水事業 江別南幌地区

### 1. 事業の概要

#### ◆事業の目的

本地区は、北海道江別市、南幌町に位置し、周囲を千歳川（直轄区間）・夕張川（直轄区間）及び旧夕張川（直轄区間）に囲まれた平坦な地形の農業地帯であり、水稻を中心に野菜類を加えた営農が営まれている。

本地区の排水施設は、国営江別太土地改良事業（S44～S46）等により整備されたが、施設の老朽化が著しく、また、地盤沈下や土地利用の変化等により排水能力が低下し、農地の湛水被害が発生するなど営農の支障となっている。

このため、本事業により排水機及び排水路の改修と効率的な排水系統再編を行うことにより農地の湛水被害を解消し、生産性の向上を図り、もって地域農業の振興と食料生産力の強化に資するものである。

◆受益面積 3, 168ha

◆主要工事計画（案） 主要工事 排水機 1カ所（改修）  
排水路 1条 L=4.5m（改修）

### 2. 地域の環境に対する考え方

#### ◆農村環境の現状と課題

◎江別市は、石狩川と野幌原始林とともに豊かな自然の恵みをもたらし、市民の心のよりどころとしての役割を果たしている。一方、災害のほとんどが石狩川を始めとする河川の氾濫による。このような条件にある地域の自然環境は、豊富であり、動植物の保護・保全に努め、水や緑などの景観を有効に市民生活に取り組みることが課題である。

◎南幌町は、千歳川、夕張川、旧夕張川に囲まれて、標高5.5～17.0m平坦な地勢にあり、長雨や集中豪雨により被害を受けることもある。自然生物は、土地の大半が水田であり、河川と防風林に囲まれた水田の二次自然環境に生息する生物種が多い。また、水田と防風林によって構成されている豊かな環境の充実も課題となっている。

### 3. 環境配慮のための環境調査

#### ◆環境保全の基本的考え方

公園・緑地等を含めた緑や樹林地、河川・湖沼等の水辺等の自然景観や良好な自然環境の保全に努める。

#### ◆基本方針

##### ◎農地周辺

地域の環境に関する既往調査結果を踏まえながら、本事業により整備する施設（排水機場・排水路）周辺における動植物の生息・生育状況について現地調査を行い、本事業に伴う『環境配慮対策』検討の基礎とする。

現地調査の実施に当たっては、調査箇所は既往調査位置との重複を避け、調査時期については結果を対比できるように設定する。

##### ◎水質状況

工事実施中における水質への影響の有無を確認するため、工事実施前（現況）のデータ収集として、水質調査を実施する。

##### ◎景観調査

地域の景観特性である防風林、排水機場等について視点場・視点量を確認し、本地区で造成した施設が周辺景観に及ぼす影響を把握する。

#### ◆環境調査内容

- ・調査対象 哺乳類、鳥類、魚類、昆虫類、底生動物、植物、水質
- ・調査方法 哺乳類：目撃法、フィールドサイン法  
鳥類：ラインセンサス法  
魚類：採捕調査法  
昆虫類：任意採集法、ライトトラップ法、バイトトラップ法  
底生動物：定性採取法、定量採取法、目撃法  
植物：植物相調査、群落調査  
水質：直接採水（SS、濁度）